

事務事業名		岩手県南和牛育種組合参画事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目				
	施策名	02 地域特性を生かした農林業の振興						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 農業経営の安定支援						01	06	01	04	09
根拠法令						☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) 年度～ ☐ 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	農林水産部農林課						A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	課長名	菅原 博幸										
	係名	農政係	電話	27-3111								
	担当者	及川 健太郎	内線	7124								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・岩手県南和牛育種組合に負担金を支出する事業。 ・岩手県南和牛育種組合は、和牛の生産改良増殖及び流通の合理化を図り、併せて広域的産地形成を期することを目的とし、胆江・両磐・気仙管内を区域としており、当該地域の市町村、農協、共済組合、和牛改良組合等で組織されている。 ・組合の主な事業は、育種牛認定事業、試験交配事業、現場検定事業、検定対策事業、優良雌牛保留事業、研修事業、産肉情報収集事業、共進会对策事業等である。 ・組合では、管内の繁殖牛に対する人工授精するための種の選抜や検定(肉質の検査)を行っている。また、販売牛や引取り牛の移動手続き(トレーサビリティ)も行っている。 ・当市は、構成団体として、協議会に負担金を支出している。また、総会へ出席するとともに、必要に応じ組合が主催する研修や講習に参加している。						総投入量(千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
									都道府県支出金			
									地方債			
									その他			
									一般財源			
							事業費計(A)	0				
						人件費	正規職員従事人数					
							延べ業務時間					
							人件費計(B)	0				
						トータルコスト(A)+(B)		0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

・岩手県南和牛育種組合に対し、負担金を拠出した。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

・前年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

岩手県南和牛育種組合

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・組合の行う事業に参画し、市内和牛の生産改良増殖等に資する。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

・安定して農業を営む。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 総会出席回数	回
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 岩手県南和牛育種組合構成団体の数	団体
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 市内の仔牛販売価格(1頭あたり平均価格)	円
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	53	67	60	58	52	60
	事業費計 (A)		千 円	53	67	60	58	52	60	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	5	5	5	5	5	5	
		人件費計 (B)	千 円	20	20	20	20	20	20	
トータルコスト(A)+(B)		千 円	73	87	80	78	72	80		
⑤活動指標		ア	回	1	1	1	1	1	1	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	団体	19	17	18	18	18	18	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	円	380,000	908,820	929,610	709,000	929,610	929,610	
		シ								
		ス								

事務事業ID	1213	事務事業名	岩手県南和牛育種組合参画事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
・不明

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・畜産農家経営者の高齢化が進み、畜産事業の振興に影響を及ぼしている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	・県南和牛育種組合は、和牛の生産改良増殖及び流通の合理化を目的に岩手県南部で事業展開しており、当市との関りも強く、市の畜産振興上、組合との連携は必要。 ・組合への参画により、畜産農家の経営安定が図られ、市の農業振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	・岩手県南部の市町村が組合員となっている。 ・組合事業への参画は、当市の畜産振興全般に結びつくことから、関与は妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	・事業の性格上(負担金の納入)、対象は限定(組合)される。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	・引き続き組合事業へ参画することが成果の向上につながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	・県南部において和牛の生産改良増殖を目的に事業を行っている団体は、県南和牛育種組合のほかになく、市内において優良牛の増頭を図るためには、組合への参画は必要であり、事業の廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	・事業費は負担金のみで、削減できない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	・組合が行う事業への旅費及び負担金納入事務にかかる担当職員の人件費のみであり、削減できない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	・受益者負担は発生しない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																			
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr> <tr> <td>低下</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下	×	×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		●	×																	
低下	×	×	×																	

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続する。